ビッグスロットルボディーキット　取扱説明書

製品番号	03-05-0153

適応車種	スーパーカブ 110	(JA07-1000001 ～)
		(JA10-1000001 ～)
		(JA44-1000001 ～)
	クロスカブ	(JA10-4000001 ～)
	クロスカブ 110	(JA45-1000001 ～)

適応車種	リトルカブ (FI)	(AA01-4000001 ～)
	スーパーカブ 50(FI)	(AA01-1700001 ～)
適応条件	(エンジン仕様):S ステージ 88cc 又は R ステージ 88cc/106cc 装着車	
	(コントローラー):FI コン TYPE-e : ハイパー EUC	
※FI コントローラー :05-04-0047 には対応出来ません。		

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。
（説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。）
◎取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧め致します。
◎ボルト、ナットは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
◎当製品はクローズド競技用として開発した製品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず道路運送車両法の保安基準を充たし、遵法運転を心掛けて下さい。
（道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。）
◎弊社ボアアップキットや弊社製マフラーと同時使用する場合は FI コン、FI コン 2、FI コン TYPE-e、ハイパー ECU が別途必要になります。
◎ FI コン、FI コン 2、FI コン TYPE-e、ハイパー ECU は使用する車種、エンジンにより異なりますので対応の商品をお買い求め下さい。
◎リトルカブ (FI)、スーパーカブ 50(FI) に当製品を取り付けるとスロットルの巻き取り角度が多くなります。
品番 :03-06-0034 を取り付ける事でノーマルスロットル時同等の巻き取り角度になります。
◎リトルカブ (FI)、スーパーカブ 50(FI) の場合ノーマルには対応していません。必ず適合条件に従った仕様でお使い下さい。
又ノーマルインジェクターでは対応出来ません。
※必ず大容量インジェクター :00-00-0271 をお使い下さい。
◎リトルカブ (FI)、スーパーカブ 50(FI) に当製品を取り付けると純正のスロットルケーブルカバーが使用出来なくなります。
スロットルケーブルカバーは下記のパーツを別途準備する事で取り付け出来ます。
ホンダ純正部品
・16150-K88-L00 : カバー、スロットルケーブル　1 個
・93500-05012-0H: スクリュー、パン 5x12　1 個

～特　徴～

○ボア径 φ 24 のスロットルボディーを採用する事により、ノーマルのスロットルボディー使用時に対し中高速域が大幅に出力増加しますので、高回転域までストレス無く回るエンジン特性をお楽しみ頂けます。

⚠ 注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）
■ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。
■エンジンの回転中は、スロットルボディー吸気管内を不用意に覗き込まないで下さい。（火炎が噴射することがあり、大変危険です。）

⚠ 警告　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（事故につながる恐れがあります。）
■ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。
■製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川
〒 584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp

製品内容

部　品　名	個数
ビッグスロットルボディー	1

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

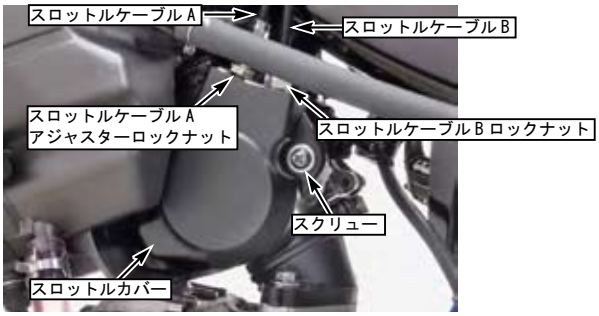
■はじめに
作業は水平で安全な場所で、メンテナンススタンドをかけるなどして、車両をしっかりと安定させてから開始して下さい。

⚠ 注意：本取説での外装部品取り外し作業内容は、詳細を省略した概要のみを記しております。
外装取り外し作業に不慣れな方は、販売店等に作業を依頼するか、必ずメーカー純正サービスマニュアルの作業手順・締め付けトルクの指示に従い作業を行って下さい。
また外装類の脱着時、爪部分や溝部分を破損しないように、注意深く作業を行って下さい。

●ノーマル部品の取り外し

○サービスマニュアルを参照し、レッグシールド又はメインパイプカバーを取り外します。
○インジェクタからクイックコネクタの接続を外し、インジェクタ 2P 黒、センサユニット 5P 黒、IAC バルブ 4P 黒の接続を外します。

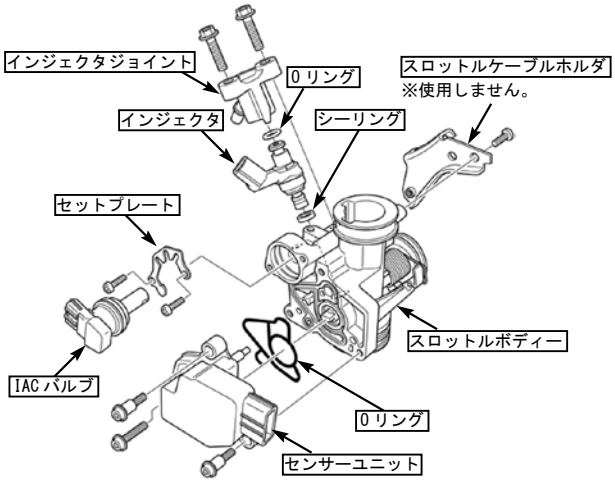
○コネクティングチューブのバンドスクリューを緩め、スクリューとスロットルケーブルカバーを取り外します。
○スロットルケーブル A アジャスターロックナットを緩め、スロットルドラムとケーブルホルダからスロットルケーブル A の接続を外します。
○スロットルケーブル B ロックナットを緩め、スロットルドラムとケーブルホルダからスロットルケーブル B の接続を外します。
※リトルカブ (FI)、スーパーカブ 50(FI) の場合、スロットルケーブルは 1 本しかありません。



○インシュレーターマウントボルト 2 本を取り外します。
○コネクティングチューブの接続を外し､スロットルボディーを取り外します。

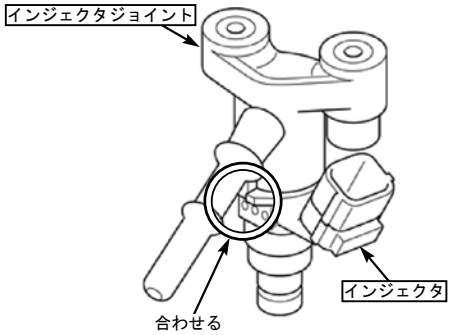
○バンドスクリューを緩め、インシュレーターをスロットルボディーから取り外す。

○下記を参考に部品を取り外し、ビッグスロットルボディーに組み込みます。



●取り付け

※各部の要点のみの説明となります。
　メーカー純正サービスマニュアルと組み立て図を参考に組み立てて下さい。
○インジェクタを取り付ける際はインジェクタジョイントの突起部を合わせて組み付けます。



■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○セットプレートを IAC バルブに取り付け、図のようにプレートの溝をバルブボディーの突起に合わせます。IAC バルブのスライドバルブを時計方向に回し、バルブボディーに軽く突き当てます。

○スライドバルブの溝をスロットルボディーのピンに合わせ、IAC バルブとセットプレートを取り付けます。

○スクリュー 2 本を規定トルクで締め付けます。

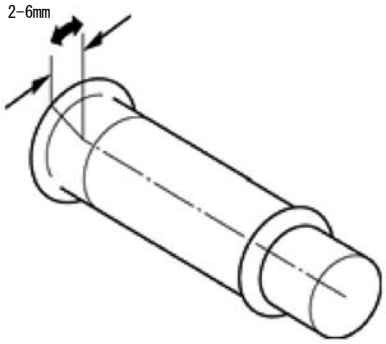
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：2.1N・m（0.2kgf・m）

○メインスイッチを ON にし､IAC バルブの作動音が数秒間すれば正常です。IAC バルブの作動音がせず、PGM-FI 警告灯が点滅していない場合は下記の点検を行います。
IAC バルブを取り外します。
シールラバーに劣化、損傷がないか点検します。
スライドバルブやエア通路の汚れや詰まりを点検します。
IAC バルブに IAC バルブ 4P（黒）カプラを接続します。メインスイッチを ON にし、IAC バルブの作動を点検します。スライドバルブがバルブボディーに一度突き当たり、次に少し戻れば正常です。
IAC バルブを取り付けます。

○スロットルボディーの突起に溝を合わせながらインシュレーターを取り付けます。
インシュレーターバンドスクリューを規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
インシュレーターバンドスクリュー
トルク：2N・m（0.2kgf・m）

○スロットルグリップの遊びが規定範囲から外れる場合は、調整を行います。
スロットルグリップの遊び：2-6mm



○遊びが規定範囲から外れる場合は、調整を行う。調整はスロットルボディー側で行います。
※必要に応じて、スロットルケーブル側でも調整して下さい。
○ロックナットを緩め、アジャスターを回して遊びを調整し、ロックナットを規定トルクで締め付けます。
調整後、スロットルグリップの遊び、作動を再度点検します。
※ステアリングを左右に操作しても遊びがあるか確認して下さい。

○スロットルボディーを交換する事により、エンジンコントロールユニットの初期化が必要になりますので、下記手順に従い初期化を行って下さい。
・エンジンコントロールユニットに DTC が保存されているとスロットル開度センサーのリセット、エンジンコントロールユニットの初期化が出来ませんので DTC を消去します。
・DTC が保存されていない場合は「スロットル開度センサーのリセット」の項目から作業を開始して下さい。※ DTC ＝診断トラブルコード

●保存された DTC の消去

※本説明書では SCS カプラを用いた消去方法を紹介します。
○メインスイッチを OFF にします。
○サービスチェックカプラ、カプラカバーを取り外し、専用工具を使用してサービスチェックカプラの端子を短絡します。
専用工具が無い場合は手持ちのリード線を用いて赤色のカプラの青色コードと緑 / 黒色コードを短絡させます。
SCS カプラ：ホンダ純正品番 070PZ-ZY30100
※リトルカブ (FI)、スーパーカブ 50(FI) は、R サイドカバー内の赤カプラのコード色は青 / 白コードと緑コードを短絡して下さい。

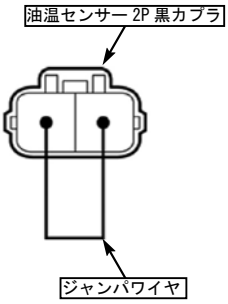
○メインスイッチを ON にします。
○サービスチェックカプラから SCS カプラの接続を外します。
PGM-FI 警告灯が点灯してから（リセット受信パターン）5 秒以内に SCS カプラをサービスチェックカプラに再度接続します。
○ PGM-FI 警告灯が消灯して点滅を開始した場合（完了パターン）、保存された DTC は消去されています。
○必ず PGM-FI 警告灯の点灯中にサービスチェックカプラを短絡する事。
手順が正しくない場合は、PGM-FI 警告灯は消灯した後に点灯状態となります（失効パターン）。
この場合はメインスイッチを OFF にして再度上記の作業を行います。
○ PGM-FI 警告灯が点滅を開始する前にメインスイッチを OFF にした場合、自己診断メモリは消去されないので注意して下さい。

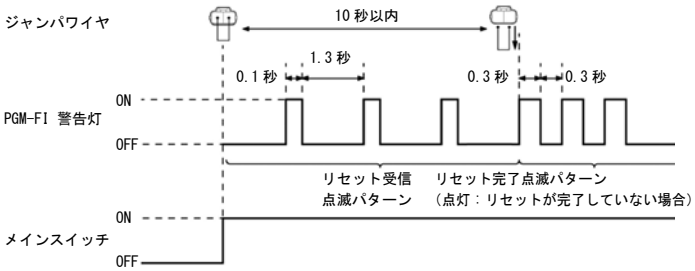
■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

●スロットル開度センサーのリセット

○メインスイッチを OFF にします。
○レッグシールド、センターカバーを取り外します。
○サービスチェックカプラをバッテリカバーから外し、カプラカバーを取り外します。
○サービスチェックカプラの端子を SCS カプラで短絡させます。
専用工具：SCS カプラ：ホンダ純正品番 070PZ-ZY30100
接続：青－緑／黒
※リトルカブ (FI)、スーパーカブ 50(FI) は、R サイドカバー内の赤カプラのコード色は青／白コードと緑コードを短絡して下さい。

○油温センサー 2P 黒カプラの接続を外します。
ワイヤハーネス側油温センサー 2P 黒カプラの端子間をジャンパワイヤまたは手持ちのリード線で接続します。
○メインスイッチを ON にすると、PGM-FI 警告灯が点滅を始めます（リセット受信パターン）。
10 秒以内にジャンパワイヤを油温センサー 2P 黒カプラから外します。
○ PGM-FI 警告灯の点滅がリセット受信パターンからリセット完了パターンに変化し、スロットル開度センサーのリセットが完了します。
○メインスイッチを OFF にする。
10 秒以上経過した場合および手順が正しくない場合は、PGM-FI 警告灯は点灯状態となる。再度上記の手順に従って作業を行う。
○作業完了後、油温センサー 2P カプラの接続を元に戻します。





● IAC バルブの初期学習

〈JA07・JA10 の場合〉※ JA10 クロスカブは除く
・スロットル開度センサーのリセット完了後、エンジンを始動し 15 ～ 25 分間暖機運転を行います。
・暖気運転中、PGM-FI 警告灯が 20 秒間点灯し、その後消灯すれば IAC バルブの初期学習は完了です。

〈JA44・JA45 の場合〉
・サービスチェックカプラの端子を SCS カプラで短絡させたままエンジンを始動し、15 ～ 25 分間暖気運転を行います。
・暖気運転中、PGM-FI 警告灯が 20 秒間点灯し、その後消灯すれば IAC バルブの初期学習は完了です。
上記の作業完了時、PGM-FI 警告灯が点灯しない場合は、IAC バルブの初期学習は完了していない。再度はじめから作業を数回繰り返す。
それでも PGM-FI 警告灯が点灯しない場合は、エンジンコントロールユニットを良品に交換し、再度はじめから作業を行う。
・取り外した部品を逆手順で取り付けます。

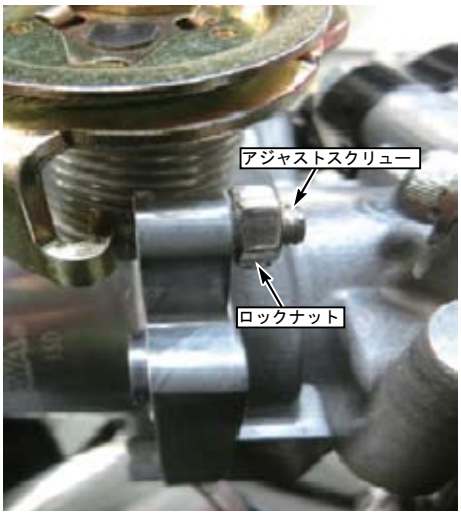
●アイドリングの調整

○出荷時にアジャストスクリューの調整は済んでいますが車両の仕様や個体差により、アイドリング回転数が基準値に収まらない場合があります。もし基準値に収まらない場合は下記手順に従い調整を行って下さい。
・暖気運転後のアイドリングが基準値に収まらない場合は、スロットルプーリー下部のロックナットを緩めアジャストスクリューの調整を行って下さい。
低い場合：アジャストスクリューを締めこみます。
高い場合：アジャストスクリューを緩めます。
アイドリング回転数：1,400 ± 100 min-1

リトルカブ FI、スーパーカブ 50FI の場合
アイドリング回転数 :1700 ± 100min-1

○調整後、ロックナットを締め付けアイドリング回転数を確認して下さい。

⚠ 注意：ロックナットを締め付ける際はアジャストスクリューが回転しない様に固定して下さい。
⚠ 注意：アイドリングの調整を行った場合は再度スロットル開度センサーのリセットを行って下さい。



●各型式、エンジン仕様での FI コン・FI コン 2 の調整

〈JA07〉
STD 排気量の場合、特に変更は必要ありません。FI コンのセッティング表の通りに設定しご使用下さい。
ボアアップの場合、スイッチ位置を B から D に変更してご使用下さい。

〈JA10〉
STD 排気量の場合、MAP の増減微調整にて 4 ポイントの増量を行いご使用下さい。
ボアアップの場合 2019 年 2 月現在対応出来る FI コン 2 がございません。

〈JA44・JA45〉
STD 排気量の場合、MAP の増減微調整にて 4 ポイントの増量を行いご使用下さい。
ボアアップの場合、MAP の増減微調整にて 4 ポイントの増量を行いご使用下さい。
※上記は FI コン 2 をご使用の場合のセッティングです。

〈リトルカブ (FI)、スーパーカブ 50(FI)〉
FI コン TYPE-e の取扱説明書に記載されたプリセット MAP をご使用下さい。

◎この取扱説明書は弊社ホームページに PDF データーでアップしております。
印刷では表記が読みにくい等ございましたら弊社ホームページにてダウンロードしご確認下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA